



Q 2000年基準の耐震化助成事業の周知の取組は?  
A 対象住宅の抽出作業やチラシ案の作成準備をしておりそれを基に一軒一軒の戸別訪問を予定している。また、耐震相談会を実施し、耐震化の必要性や助成制度をお伝えして、耐震化の促進に取り組んでいく。

#### ⑯ポンプ所について

Q ポンプ所の耐水化の取り組みは?  
A 東京都が発表した「TOKYO強靭化プロジェクトアップグレード」では、高潮対策潮位A.P.+4.8m～A.P.+6.0mの対策が発表された。今後もある機会を通じて都に要請していく。



#### ⑰液状化対策について

Q インフラ、公共施設、主要道路などの液状化対策は?  
A 水道、ガス等の耐震化対策は進んでいる。道路の液状化対策は、技術的基準が確立していないなどの課題がある。今後も区民の安全・安心のために、課題を解消していきたい。

#### ⑯私道のL形溝への助成について

Q 私道が果たしてきた役割の認識は?  
A 私道は戸建住宅開発の際に整備されることが多く、両端が区道に接続する一般的の通行に供する道路も多い。したがって私道も区民が安全安心に通行できる道路であるべきと認識している。  
Q 私道のL形溝への助成制度の検討は?  
A 区の私道助成は、私道排水設備が損傷したときに修繕費用を助成している。L形溝の助成は周辺自治体の状況や助成条件などを考慮しながら検討していく。



#### ㉑タブレット端末の活用について

Q オンライン教育の進捗状況は?  
A オンライン教育は日常化している。子どももタブレット端末を活用できており、教員も研修

#### 【所属・役職】

- 行財政改革・SDGs  
推進特別委員長
- 文教委員会委員
- 区議会公明党政調会長  
・副幹事長

nakamichi@e-komei.com

中道貴ホームページへ



第52号

# なかみち通信



## あの道、この道、安心の街へ！



#### ●区道の安全対策が実現！

大杉1丁目付近の区道では、大型車両との接触事故が多発。区への陳情により注意看板や路面標示が整備されました。しかし、危険な状態は解消されないため、交通規制を求める署名活動を開始。

沿線住民166名の署名をいただき、一昨年12月、竹平智春都議のご協力を得て、陳情書と併せて警視庁小松川署長へ提出。

その結果、本年2月、積載3t以上の車両進入を朝に限り禁止する交通規制が整備されました。



#### ●自転車の注意看板設置！

松江1～3の松江大通りを危険走行する自転車の対策に注意看板(4カ所)を設置。



#### ●道路の改修

大杉1-1付近の区道は、一部すり鉢状に窪むため地域住民の方々から道路改修を求められました。

区土木部に申し入れたところ、早速改修され水たまりも解消されました。